

各 位

六興電気株式会社
 経理部長 丸山宏明
 問い合わせ先：03-3459-3350

2017年9月度(第76期)決算ダイジェスト

■売上高

42,181百万円

売上高は、前期より増加し42,181百万円(前期比110.1%)となった。要因として工事進行基準工事が前期と比べ4,610百万円増加した為である。売上高のうち工事進行基準による計上額は19,556百万円であり次年度への繰越工事高は51,908百万円(前期比106.6%)となった。

■営業利益

3,708百万円

■経常利益

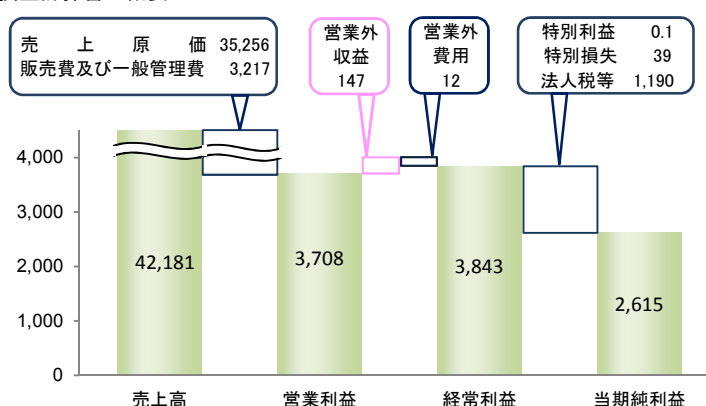
3,843百万円

■当期純利益

2,615百万円

損益計算書の概要

(単位:百万円)



利益は、案件の収益確保と手持工事量の最適化に伴う粗利改善によって、営業利益で3,708百万円(前期比157.6%)、経常利益は有価証券配当金等で、3,843百万円(前期比157.3%)、当期純利益で2,615百万円(前期比178.8%)となった。

■自己資本比率

56.0%

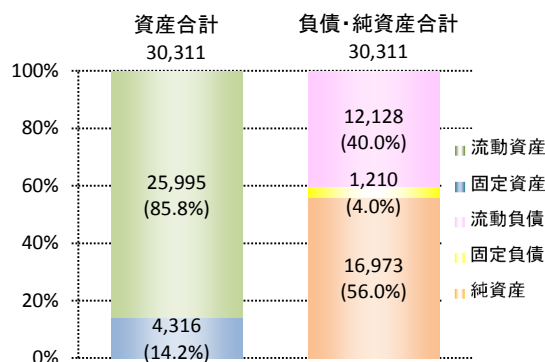
資産は、前期と比べ6,214百万円増加し、30,311百万円となった。増加の主な要因は電子記録債権・完成工事未収入金の増加である。

負債は、前期と比べ3,626百万円増加し、13,338百万円となった。増加の主な要因は手持工事増加に伴う工事未払金等の増加である。

純資産は、前期と比べ2,588百万円増加し、16,973百万円となった。増加の主な要因は利益剰余金の増加等である。

貸借対照表の概要

(単位:百万円)



■キャッシュフロー

「営業活動によるキャッシュフロー」は、主に事業収支が引き続き堅調に推移したことによって資金が増加となった。

「投資活動によるキャッシュフロー」は、主に有価証券の償還により資金が増加となった。

「財務活動によるキャッシュフロー」は、主に配当金支払により資金が減少となった。

結果、前期末より2,203百万円資金が増加となった。

現金及び同等物 第75期 期末残高	営業活動CF	投資活動CF	財務活動CF	現金及び同等物 第76期 期末残高
6,090	2,265	137	▲ 199	8,293

(単位:百万円)